

焦点	タクシー値上げ先送り 困惑	3面
総合・国際	英議会 離脱巡る攻防再開	4面
スポーツ	野球U18W杯 日本2次L進出	17面
社会	高山植物「オニク」新品種か	29面
社説	係争委の勧告／鹿児島女児虐待	5面

東信	菅平の魅力学校新聞に	
北信	「小沼藩」高校生が発信	
中信	何げない日常から30首	
諏訪	「登竜門」上映を拡充	
飯田伊那	高遠城下まつり50回目	
	地域ニュース20-23面	

2019年(令和元年)
9月4日
水曜日



赤い実の力に注目

高森町で栽培され、「薬草部」の部員たちが注目したこの植物。地域を活気づける活動に一役買う。 地域面飯田伊那から



1873年(明治6年)創刊
発行所
信濃毎日新聞社
長野本社 〒380-8546
長野市南東町 657番地
電話(026)
受付236-3000編集236-3111
販売236-3310広告236-3333
松本本社 〒390-8585
松本市中央 2丁目20番2号
電話(0263)
代表32-1200 報道32-2830
販売32-2850 広告32-2860
©信濃毎日新聞社2019年



5月30日の2機の飛行高度調査のため、低空飛行解析センターが動画を連続写真のように加工した画像

米軍機 高度二百数十メートル

佐久の動画から推計

米軍横田基地(東京)所属のC130輸送機2機が5月30日に佐久地方を低空飛行した問題を巡り、撮影動画を基に佐久市白田地区で行われた調査で、同輸送機の高度は推計二百数十メートルの結果が出たことが3日、分かった。調査は共産党佐久市議団、全国で米軍機の低空飛行高度を推計している岡山県倉敷市の市民団体「低空飛行解析センター」と測量会社が、実態解明につなげようと取り組んでいた。市議団が4日に記者会見を開いて説明する。

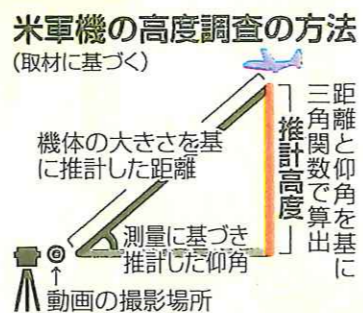
共産市議団など調査

日米の外務、防衛当局者による日米合同委員会の合意では、在日米軍の低空飛行訓練には日本の航空法の最低安全高度などと同じ規制を適用。航空法は住宅密集地では航空機周辺の建物の上端から300メートル、住宅のない地域では地上150メートル以上を飛行するとしている。

2機は佐久市役所付近などでも低空飛行しており、仮に二百数十メートルの高度を維持し続けていた場合、住宅密集地では日米合意に違反した恐れがある。

在日米軍はこれまでの取材に対し、5月の飛行高度については安全上の理由から「公表しない」としている。

市議団などは8月中旬に調査を開始。白田地区で市民が動画を撮影した場所で測量した。動画の機体の大きさと実際の大きさを比較して撮影場所からの距離を推計し、動画に映る電柱などの仰角を参考に機体の仰角も調べ、距離と仰角を基に高度を推計した。



佐久市の柳田清一市長は調査結果について「まだ正式に聞いていないので分からない」としながらも「(5月の低空飛行で)市民が恐怖を感じた事実はある。恐怖を感じたような飛行はやめてほしい」と訴えている。

未来を育てる人がいる
北野建設